

桜門ドイツ文学会だより

[平成 29 年度の主な活動]

2017.03.11 理事会・総会・懇親会（日本大学会館 203 会議室）

（理事会：午後 3 時～午後 5 時、総会：午後 5 時～午後 5 時 30 分、

出席者：理事会 14 名、総会 24 名）

【報告】

1. 平成 28 年度活動報告
2. 平成 28 年度会計報告
3. 新入会員について
4. その他

（日本学術振興会からの通知）

【審議】

1. 平成 29 年度担当ブロックと会長、理事長の承認
2. 理事会の日時と場所について
3. 平成 29 年度第 19 回学術研究発表会について
4. 『リュンコイス』第 51 号の編集・発刊について
5. その他
 - ① 会計監査について
 - ② 『リュンコイス』のデータ化とインターネット上の公開について
 - ③ 『リュンコイス』の編集に関わる担当について
 - ④ 日本独文学会研究発表会について

〈懇親会〉

総会に引き続き、日本大学会館地下食堂にて和やかに懇親会が開かれた。（午後 6 時～午後 8 時、参加者：24 名）

2017.03.24 ドイツ語文法研究会

（日本大学生物資源科学部 4 号館 5 階ドイツ語研究室）

（午後 3 時～午後 7 時）

【発表題目】

- ① 『源氏物語』のドイツ語訳における seit と完了形の共起について
—Arthur Waley による英訳との比較— 杉田芳樹
- ② 独文伊訳の問題点—近過去と半過去— 川尻竜彰

2017.06.17 第一回理事会（日本大学法学部 10 号館 1072 講堂）

（午後 3 時 30 分～午後 5 時 30 分）

【審議】

1. 平成 28 年度理事会・総会議事録の承認
2. 平成 29 年度各ブロック理事の承認：渡辺徳夫・関口なほ子・豊田順一・須藤温子・田中徳一・柳武司（広報委員会委員長）・○伊藤卓立・渡邊徳明・三浦美紀子・杉田芳樹・黒瀬志保（庶務委員会委員長）の諸氏 [○は理事長]
3. 平成 29 年度第 19 回学術研究発表会について
4. 平成 29 年度総会・理事会について
5. 『リェンコイス』第 51 号の編集・発刊について
6. その他

2017.09.08 第 19 回学術研究発表会（日本大学商学部 2201 教室）

（午後 2 時～午後 5 時）

【司会・開会の辞】 伊藤卓立

【発表題目】

- ① トーマス・マンと神話—『ヴェニスに死す』を中心に—
及川晃希
- ② ルドルフ・シュタイナーの思想におけるゲーテ自然科学
高宮純子
- ③ ドイツ文学作品における引用符のない直接引用の出現条件
中島 伸
- ④ 「物と生」・「俗と聖」をめぐる意味論について
—ベルクソン、オットー、エリアーデを結ぶ超理知—
渡邊徳明

⑤ ギュンター・グラス遺作 „Vonne Endlichkait“ と詩画集について
勅使川原聖子

⑥ リルケの詩 „Aschanti“—笑ったのは誰か?— 伊藤卓立

【閉会の辞】保坂一夫

〈懇親会〉

研究発表会後、商学部近くのレストラン「モデラート」にて和やかに懇親会が開かれた。(午後6時～午後8時、参加者：19名)

2017.12.16 『リユンコイス』第51号第一回編集会議

(日本大学法学部10号館1041講堂)(午後1時～午後5時50分)

2018.02.17 『リユンコイス』第51号最終編集会議

(日本大学文理学部3号館3206教室)(午後1時～午後5時50分)

[会員の活躍情報]

- ・谷澤優子：「おもてなしのドイツ語」連載 『NHK テレビ 旅するドイツ語』(NHK出版、2016-17)所収
- ・初見基：「異文化に向き合う—現代ドイツの政治文化」『知のスクランブル—文理的思考の挑戦』(日本大学文理学部編、筑摩書房)所収
- ・千石喬 共編・共訳：『グリム兄弟言語論集—言葉の泉』(ひつじ書房)
- ・三浦美紀子：「子供っぽくない絵本、大人を癒す絵本」『知ってほしい国 ドイツ』(高文研)所収

[ご寄付について]

平成29年度に、千石喬先生、野澤密孝様、日本大学文理学部ドイツ文学科、および匿名の先生1名より当会に寄付を頂きました。厚く御礼申し上げます。

桜門ドイツ文学会の発展にご尽力いただいた岩村行雄先生が2017年10月22日に逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

(文責 伊藤)